

考査報告書 南洋支隊 (一)

浦賀上陸地支局

(昭和三年十一月十四日)

史実調査参考資料報告

所在地	南洋 ボルネ	職官	陸軍少佐 棚橋新太郎	摘要	終戦時ノモ ラ記ス
支那事変以降ノ略歴	<p>昭和十三年四月歩八五中隊長 鐵嶺江渡河作戦 並南洋作戦 二昭和三十五年八月歩八五附 江南作 戦 浙東作戦 浙贛作戦 三昭和三十八年三月 独守 備歩隊才天防附 四 昭和三十八年七月南洋才五隊副 才不才空軍才五 昭和三十九年五月 独守混成才五隊 副才</p>	職ノ変更及 主ナル参加 戦年名ヲ記 ス	所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	<p>一歩兵才八五隊 昭和三十九年七月十四日 本部 三才隊 通信隊 歩兵砲隊 二獨守才五隊 本部 一般中隊 四 三南洋才五隊 昭和三十八年七月三十日 支隊本部 歩兵才五隊 工兵中隊 一才五隊 一 四独守混成才五隊 昭和三十九年七月十日 才五隊 通信隊 工兵隊 才五隊 砲兵隊 五南洋才五隊 昭和三十八年七月十日 才五隊 四和才五隊 昭和三十九年七月十日 才五隊 六南洋才五隊 昭和三十九年七月十日 才五隊 七南洋才五隊 昭和三十九年七月十日 才五隊</p>	最終ノ所屬 部隊ヲ記シ 尚其ノ以テ ノ所屬部隊 ノ介ヲモ 概 記ス
所屬部隊ノ 戰經過ノ概 要	<p>南洋才五隊 昭和三十八年七月十日 才五隊 四和才五隊 昭和三十九年七月十日 才五隊 六南洋才五隊 昭和三十九年七月十日 才五隊 七南洋才五隊 昭和三十九年七月十日 才五隊</p>	歸還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	終戦又ハ 戰事終了後 ノ状況	<p>一終戦ノ大詔ニ接シ直ニ才五隊才五隊才五隊 並トシテ才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊 二九月十日 八才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊 三才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊 四才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊 五才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊 六才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊 七才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊</p>	併記ス
歸郷又ハ 送先	<p>才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊</p>	併記ス	其ノ他ノ参 考事項	<p>才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊才五隊</p>	併記ス

4

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二十二日)

史実調査参考資料報告

摘 要	終戦時ノモ ラ記ス	職 官 陸軍中尉 小 西 治 兵 衛	所 在 地 南洋群島ノ十ノ島	所 属 部 隊 獨逸成第卅二旅團通信隊	支那事変以 降ニ於テ自 己ノ略歴 一昭和十七年三月一日南洋洲支隊ニ入隊 一昭和十七年十月廿日陸軍部備中校ニ任シ八月廿九日 一昭和十八年十一月三日南洋洲支隊ニ任シ 一昭和十九年六月十日獨逸成第卅二旅團通信隊ニ任シ	所 属 部 隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 所屬部隊編成 一 部隊 獨逸成第卅二旅團 又編成日 昭和十九年六月十日 二 裝備 司令部一 歩兵四十六 通信 一 戰車 一 工兵 一 郵便 一 郵便 下大	所 属 部 隊 戰經過ノ概 要 南洋洲支隊ニ昭和十八年十一月廿九日南洋洲支隊 ハ及山ノ支隊ニ任シ十月十日南洋洲支隊ニ任シ 十月十日南洋洲支隊ニ任シ 五月二十日機動部隊ニ任シ 又、字務隊ニ任シ	終戦又ハ之ノ 戰斗終了後 ノ状況 一終戦大戦ニ在リテ南洋洲支隊ニ任シ 一九月十二日ハ南洋洲支隊ニ任シ 一南洋洲支隊ニ任シ	歸郷又ハ連 絡ノ先 兵庫縣	其ノ他ノ参 考事項
歸還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス		職 官 陸軍中尉 小 西 治 兵 衛	所 在 地 南洋群島ノ十ノ島	所 属 部 隊 獨逸成第卅二旅團通信隊	支那事変以 降ニ於テ自 己ノ略歴 一昭和十七年三月一日南洋洲支隊ニ入隊 一昭和十七年十月廿日陸軍部備中校ニ任シ八月廿九日 一昭和十八年十一月三日南洋洲支隊ニ任シ 一昭和十九年六月十日獨逸成第卅二旅團通信隊ニ任シ	所 属 部 隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要 所屬部隊編成 一 部隊 獨逸成第卅二旅團 又編成日 昭和十九年六月十日 二 裝備 司令部一 歩兵四十六 通信 一 戰車 一 工兵 一 郵便 一 郵便 下大	所 属 部 隊 戰經過ノ概 要 南洋洲支隊ニ昭和十八年十一月廿九日南洋洲支隊 ハ及山ノ支隊ニ任シ十月十日南洋洲支隊ニ任シ 十月十日南洋洲支隊ニ任シ 五月二十日機動部隊ニ任シ 又、字務隊ニ任シ	終戦又ハ之ノ 戰斗終了後 ノ状況 一終戦大戦ニ在リテ南洋洲支隊ニ任シ 一九月十二日ハ南洋洲支隊ニ任シ 一南洋洲支隊ニ任シ	歸郷又ハ連 絡ノ先 兵庫縣	其ノ他ノ参 考事項

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月十二日)

所在地	南洋群島ホナパ島	職官	摘要
所属部隊	独立混成第五十二旅團	氏名	終戦時ノモ ノヲ記ス
支那事変以降 己ノ略歴	昭和十六年十二月八日以降 昭十八年三月三日 昭十九年六月十九日 昭十九年十一月十九日 昭二十年一月十日 昭二十年一月十日	廣島陸軍病院勤務 召集解除 南島集結混成旅團司令部 南島集結混成旅團司令部 南島集結混成旅團司令部	職ノ変更及 主ナル事加 戦ノ名ヲ記 ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	所屬獨立混成第五十二旅團編成年月日 昭和十九年六月十日 編成裝備 歩兵四ヶ大隊 野砲一ヶ大隊 戰車隊一ヶ中隊 工兵一ヶ中隊 通信一ヶ中隊	昭十九年二月ヨリ ホナパ島守備隊空戰 斗ノミニニテ終戦ニ至ル	最終ノ所屬 部隊ヲ主ニシ 尚其ノ以テ ノ所屬部隊 ノ介ヲモ概 記ス
終戦又ハ ノ戦ヲ終了 ノ状況	終戦後モ依然ホナパ島ニ據テ自活作業ニ従事 帰還時ハ駆逐艦「竹」ニ便乗船収救ヲ受ル	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	
歸郷又ハ 絡先	廣島縣		
其ノ他ノ 考事項	特記事項ナシ		

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十一月二十二日)

史実調査参考資料報告

所在地	南洋ホノ島	職官	陸軍中尉(予備) 野田康正	摘要	終戦時ノモ ノヲ記ス
支那事変以降ノ略歴	中ノ野戦部員時 昭和十七年十一月九日召集 日本冶金工業省幹部 昭和十八年十一月廿日 昭和十九年九月十日編成 昭和十九年十一月廿日編成 昭和十九年十一月廿日編成	職ノ変更及 主ナル参加 戦ノ名ヲ記 ス	所屬部隊ノ編成年月日及編制整備ノ概要	混成五五野砲一編成 步兵三個中隊 混成五五野砲一編成 步兵一個中隊 步兵四十五野砲一編成(野砲) 戦車五兵通信各器	最新ノ所屬 部隊ヲ記ス 尚其ノ以テ ノ所屬部隊 ノ名ヲ記ス
所屬部隊ノ戦經過ノ概要	ホノ島の海空戦			ホノ島の海空戦ノ自治ニ準ル	
終戦又ハ戦力ノ戦終了後ノ状況	ホノ島の海空戦ノ自治ニ準ル	帰還輸送ノ状況ヲモ 併記ス	歸郷又ハ連絡ノ先	[Redacted]	
其ノ他ノ参考事項	現在住所 [Redacted] 目下不明	原小塚			

中支少佐

浦賀上陸地支局

昭和十五年一月六日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	職官	姓名	終戦時ノエ ウ記ス
南洋群島中支島	陸軍少佐	中支光吉	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス
所属部隊	独立混成隊中支隊團		
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	支那事変中中支島 支隊中支隊中支隊ニ 出陣ス 大東亞戦隊 歩兵第一聯隊 大分隊長 南洋 昭和三十二年一月より独立混成隊中支隊團司令部 附島中支島ニ於テ準備		
所属部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 概要	昭和三十二年一月十日 旅團司令部 歩兵四中队 中支島 昭和三十二年 戦車隊		
所属部隊ノ 戦經過ノ概 要	昭和三十二年一月十日より終戦時迄南洋群島 中支島ニ於テ終戦時迄準備ニ從事ス 最後ノ所属 部隊ヲ主ニシ 尚ソ以テ 所属部隊ノ 介ヲモ概記 ス		
終戦(又主力 ノ戦ヲ終了) 後ノ状況	昭和三十二年一月十日終戦時迄 昭和三十二年一月十日現地交際ノ調印ヲ終了 ニ於テ米國軍司令部ニ協力シ終戦事務 ニ従事ス 昭和三十二年一月十日現地交際ノ調印ヲ終了 ニ於テ米國軍司令部ニ協力シ終戦事務 ニ従事ス 昭和三十二年一月十日現地交際ノ調印ヲ終了 ニ於テ米國軍司令部ニ協力シ終戦事務 ニ従事ス		
帰郷(又入陣 終)先	福井府		
其ノ他人参考 事項	ナシ		



島嶼

浦賀上陸地支局

昭和二十一年一月五日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	南洋群島 木十島	職官	樺岡司令 築城係 陸軍少佐 木田一郎	終戦時ノ記	ノ記ス
支那事変以降ニ於テ自	<p>一 昭和二十一年八月五日第五師團司令部附ノ支那事変ニ参加 二 大原會戰 徐州會戰 廣東作戦 南京作戦ニ参加 三 昭和二十四年五月至六月 第五師團司令部附 支那事変ニ参加 四 昭和二十五年九月 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 五 昭和二十八年 上陸作戦 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 六 昭和二十九年 六月十日 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 七 昭和二十九年 八月十日 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島</p>	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記	所屬部隊	<p>一 独立混成第五師團司令部 二 昭和二十一年八月五日第五師團司令部附 三 大原會戰 徐州會戰 廣東作戦 南京作戦 四 昭和二十四年五月至六月 第五師團司令部附 五 昭和二十五年九月 樺岡司令 木十島 六 昭和二十八年 上陸作戦 樺岡司令 木十島 七 昭和二十九年 六月十日 樺岡司令 木十島 八 昭和二十九年 八月十日 樺岡司令 木十島</p>	最後ノ所屬 部隊ヲ主ニ 尚ノ以テ 所屬部隊ノ 介ヲモ 概記
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	<p>一 獨立混成第五師團 二 昭和二十一年 六月十日 三 司令部 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 四 野戰師團ノ裝備 二連 砲兵 三八野砲 戰車 輕戰車</p>		所屬部隊ノ 戰經過ノ概 要	<p>一 南洋群島 木十島 昭和二十九年 八月十日 木十島 上陸 同島準備 二 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 三 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 四 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 五 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 六 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 七 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 八 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島</p>	
終戦ノ主力 ノ戦斗終了ノ 後ノ状況	<p>一 昭和二十九年 八月十日 終戦 樺岡司令 木十島 二 昭和二十九年 九月十日 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 三 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 四 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 五 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 六 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 七 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島 八 樺岡司令 木十島 樺岡司令 木十島</p>	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	帰郷(又ハ運 送)先	<p>樺岡司令</p>	
其他ノ参考 事項					

支那軍下位

浦賀上陸地支局

昭和二十年一月廿日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	所属部隊	職官	氏名	終戦時ノモ ノ記ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	獨混五十二旅	司令官	陸軍大尉 栗原儀造	職ノ変更及 五ノル参加 戦斗名ヲ記 ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	一、昭和十九年六月一日、獨混五十二旅 編制、歩兵四八、砲兵二、野戦一中、工兵一中 四和一中、計三三、第一支隊 編輯ノ者、各三、野戦一中、工兵一中			職ノ変更及 五ノル参加 戦斗名ヲ記 ス
所屬部隊ノ 戰經過ノ概 要	一、南支隊及獨混五十二旅 四和一中、歩兵四八、砲兵二、野戦一中、工兵一中 及第一支隊、計三三、野戦一中、工兵一中 編輯ノ者、各三、野戦一中、工兵一中			最後ノ所屬 部隊ヲ主ニ 尚ソノ以テ 所屬部隊ノ 介テモ概記 ス
終戦(又ハ主力 ノ戦斗終了) 後ノ状況	一、和支隊、獨混五十二旅 四和一中、歩兵四八、砲兵二、野戦一中、工兵一中 及第一支隊、計三三、野戦一中、工兵一中 編輯ノ者、各三、野戦一中、工兵一中			帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
帰郷(又ハ通 絡)先	島根縣			
其他ノ参 考事項	昭和十九年十一月三日、左大龍部及左下龍部 貴道統制ノ為メノ機銃隊ヲ編成ス			

門下印

浦賀上陸地支局

昭和五年一月六日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	所属部隊	職官	氏名	終戦時リネウ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
支那事変以	支那事変以來未滿(支)國兵として安部省に於て降ニ於ケル自	司令官	陸軍大尉 門川重春	職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス

葛城島

浦賀上陸地支局

昭和 年 月 日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南洋群島 本大(島)

職官

旅團司令部附

陸軍大尉 荒谷 輝雄

終戦時ノ
ノ記ス

所屬部隊

獨立混成第五旅團司令部

氏名

陸軍大尉 荒谷 輝雄

職ノ変更及
五ナル参加
ノ記ス

支那事変以
降ニ於テ自
己ノ略歴

一 昭和二十一年八月方第五師團衛生隊附下支那事
二 昭和二十一年十月方内地帰還
三 昭和二十一年十月方獨立混成第五旅團司令部附
四 昭和二十一年八月方南洋群島本大(島)
五 昭和二十一年十月方獨立混成第五旅團司令部附

所屬部隊ノ
編成年月日
及編制整備
ノ概要

一 獨立混成第五旅團 昭和二十一年六月十日
二 司令部 獨立歩兵大隊 砲兵大隊 工兵隊 一
三 野戰司令部 整備ノ年々 砲兵三八砲 戦車 軽戦車

所屬部隊ノ
戦經過ノ概
要

一 南洋群島支隊 昭和二十一年一月十日 本大(島)上陸日島
守備ノ任ス
二 獨立混成第五旅團 昭和二十一年十月十日 本大(島)
上陸南洋群島支隊長ノ指揮下ニ入り同地ノ対空戦
斗ニ参加ス
三 昭和二十一年十月十日 編成改変ニ依リ 獨立混成第五旅團
ニ編入引継キ本大(島)守備ノ任ニ任ズ 昭和二十一年十月十日 終
戦ノ時

最後ノ所屬
部隊ヲ主ニ
尚ソ以テ
所屬部隊ノ
介ヲモ 概記
ス

終戦(又主力
ノ戦ヲ終了)
後ノ状況

一 昭和二十一年十月十日 終戦ノ時 戦ヲ終了ス
二 終戦後ノ南洋群島ノ守備ノ任ニ任ズ
三 昭和二十一年十月十日 本大(島)守備ノ任ニ任ズ 昭和二十一年十月十日 終戦ノ時 戦ヲ終了ス
四 昭和二十一年十月十日 本大(島)守備ノ任ニ任ズ 昭和二十一年十月十日 終戦ノ時 戦ヲ終了ス

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷(又入軍
絡)先

本大(島)

其他ノ参
考事項

ナシ

山形古行屋

浦賀上陸地支局

昭和二十一年一月六日

報告

摘要

所在地	和歌山島	職官	陸軍大尉	終戦時トモ ウ記ス
所属部隊	独立混成第五旅團司令部	氏名	川村日斗	職変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	昭和二十年四月古満洲漫陽工兵第八旅團ニ應召入隊ス 昭和十八年十月三日古満洲駐屯地中隊 昭和十九年十月三日南洋第三支隊ニ編入 昭和十九年六月十日独立混成第五旅團ニ編入現在在任			
所属部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	昭和十九年十月三日南洋第三支隊編成 昭和十九年六月十日独立混成第五旅團ニ改編 独立混成第五旅團編成ノ概要 司令部 BTL 64K TK(中) P 10(中) A 10(中)			
所属部隊ノ 戦經過ノ概 要	昭和十九年一月十日和歌山島ニ上陸西台同地 和歌山島在任ノ終戦ニ至ル	最後ノ所属 部隊ヲ主ニ 尚ソノ以テ 所属部隊ノ 分ヲモ概記 ス		
終戦(又ハ主力 ノ戦斗終了) 後ノ状況	昭和二十年八月十日終戦ヨリ昭和二十年十月三日 帰還迄現地復興作業ニ従事ス 昭和二十年十月三日米船 山形八文一号ニ 乗船昭和二十一年一月五日浦賀ニ上陸ス	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス		
帰郷(又ハ通 路)先	大阪府			
其他ノ参 考事項				

井口菊雄

浦賀上陸地支局

昭和二十一年一月六日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	ホクハ島	職官	陸軍中尉 井口菊雄	終戦時一モ ウ記ス
所属部隊	湯島成多三三旅司令部	氏名	井口菊雄	職、変更及 五ナル参加 戦斗名ヲ記 ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	<p>昭十九年三月三日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日</p>			
所属部隊ノ 編成年月日 及編制整備 ノ概要	<p>昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 (昭三三支) 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 (昭三三支) 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 (昭三三支)</p>			
所属部隊在 戦經過ノ概 要	<p>昭十九年十一月十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日</p>			
終戦(又ハ主力 ノ戦斗終了) 後ノ状況	<p>昭十九年八月十三日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年八月十三日 昭十九年八月十三日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年八月十三日 昭十九年八月十三日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年八月十三日</p>			
帰郷(又ハ入 郷)先	<p>昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日</p>			
其他ノ参 考事項	<p>昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日 昭十九年十一月三十日 湯島成多三三旅司令部 昭十九年十一月三十日</p>			

第...号

浦賀上陸地支局

昭和二年一月六日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	職官	陸軍中尉	筒井 測	終戦時ノ ノ記ス
浦賀上陸地支局	氏名	筒井 測	測	職、変更及 主ナル参加 戦ノ名ヲ記 ス
所屬部隊	獨逸第百二十二旅司令部			
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	昭和十六年三月一日滿洲隊ハハ爾步兵才十五聯隊ハ入營 昭和十八年十一月三十日滿洲軍中隊 昭和十八年十一月三十日南洋才三支隊ニ編入 昭和十九年六月十日獨逸軍才百二十二旅團ニ編入現在ニ至ル			
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	昭和十八年十一月三十日編成完成(南洋才三支隊) 昭和十九年六月十日編成改正(獨逸軍才百二十二旅團) 獨立退攻才百二十二旅團編成 司令部(伏) 水 P A			最後ノ所屬 部隊ヲ主ニシ 尚ヤノ以テ 所屬部隊ノ 介ヲモ 概記 ス
所屬部隊ノ 概況	昭和十九年一月十日浦賀上陸地支局右同地駐屯中 任シテ終戦ニ至ル			
終戦(又主力 ノ戦ヲ終了) 後ノ概況	昭和二十年八月十日終戦ノ後昭和二十年十一月二十三日 浦賀上陸地復興ニ從事ス 昭和二十年十二月二十三日米船 ST 才八六号ニ乗船昭和二十一年 一月五日浦賀ニ入港ス			帰還輸送 ノ概況ヲモ 併記ス
其他ノ参 考事項	母及兄共北鮮在住ノ多ク帰郷者ナシ			

陸軍省
陸軍部

浦賀上陸地支局

昭和五年一月六日

支隊調査参考資料報告

摘要

所在地	支隊	職官	氏名	終戦時ノ ノ記ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	南洋軍第三支隊 昭和十一年十一月三十日編成 獨逸兵隊中隊第三隊團員 昭和十九年十一月十日編成 改定ニシテ	自 昭和十二年十一月三十日 自 昭和十三年十一月三十日 自 昭和十四年十一月三十日 自 昭和十五年十一月三十日 自 昭和十六年十一月三十日 自 昭和十七年十一月三十日 自 昭和十八年十一月三十日 自 昭和十九年十一月三十日	職変更及 五ナル参加 戦斗名ヲ記 ス
所屬部隊ノ 戦經過ノ概 要	昭和十一年十一月三十日編成 獨逸兵隊中隊第三隊團員 昭和十九年十一月十日編成 改定ニシテ	南洋軍第三支隊 昭和十一年十一月三十日編成 獨逸兵隊中隊第三隊團員 昭和十九年十一月十日編成 改定ニシテ	最後ノ所屬 部隊ヲ主ニ 尚ソノ以テ 所屬部隊ノ 介テモ概記 ス	
終戦(又ハ主力 ノ戦斗終了) 後ノ状況	昭和十一年十一月三十日編成 獨逸兵隊中隊第三隊團員 昭和十九年十一月十日編成 改定ニシテ	南洋軍第三支隊 昭和十一年十一月三十日編成 獨逸兵隊中隊第三隊團員 昭和十九年十一月十日編成 改定ニシテ	歸還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	
歸還(又ハ通 終)先	南洋軍第三支隊 昭和十一年十一月三十日編成 獨逸兵隊中隊第三隊團員 昭和十九年十一月十日編成 改定ニシテ	南洋軍第三支隊 昭和十一年十一月三十日編成 獨逸兵隊中隊第三隊團員 昭和十九年十一月十日編成 改定ニシテ	廣島縣	
其他ノ参 考事項				

水越石川

浦賀上陸地支局

昭和二年一月六日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	南洋群島中ノ島	職官	司令部付 陸軍少佐 水越石川	終戦時ノ ヲ記ス
所屬部隊	陸軍少佐 水越石川	氏名	水越石川	職更及 五ノル 加 戦 斗 名 ヲ 記 ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	<p>昭和二年一月六日 南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。同年七月に南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。同年七月に南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。</p>			
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	<p>南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。同年七月に南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。</p>			
所屬部隊ノ 戦經過ノ概 要	<p>南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。同年七月に南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。</p>			
終戦ノ主力 ノ戦終了ノ 後ノ状況	<p>南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。同年七月に南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。</p>			
帰郷(又ハ連 絡)先	<p>南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。同年七月に南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。</p>			
其他ノ考 考事項	<p>南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。同年七月に南洋群島中ノ島に上陸す。司令部付として勤務す。</p>			

杉谷世木

関東上陸地支局

昭和二十一年一月十六日

史実調査参考資料報告

所在地	南洋群島	職官	軍醫大尉	終戦時ノ モリヲ記ス	摘要
支那軍変 以降ニ於テ止 自己ノ略歴	独混五旅團司令部 杉谷世木 助	杉谷世木 助	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス	摘要	摘要
所在部隊ノ 編成年月日 及編制裝 備ノ概要	自昭和十三年十一月 至十四年八月 新卒陸軍病院勤務 自昭和十四年八月 藤代三八部隊勤務 自昭和十五年十一月 独混旅團司令部勤務 自昭和二十年一月 独混旅團司令部勤務	杉谷世木 助	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス	摘要	摘要
所属部隊 作戰経過 ノ概要	昭和十九年十一月 本島島守備 自昭和十九年十一月 本島島守備 自昭和二十年一月 本島島守備	杉谷世木 助	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス	摘要	摘要
終戦ノ人主 力ノ戦斗終 了ノ状況	終戦ノ人主 力ノ戦斗終 了ノ状況	杉谷世木 助	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス	摘要	摘要
其他ノ参 考事項	長野縣	杉谷世木 助	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス	摘要	摘要
備考	停校ニ記載セシメテ一役員者 資実部ニ送付ス	杉谷世木 助	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス	摘要	摘要

青島島守備

関東上陸地支局

昭和二十一年一月六日

史実調査参考資料報告

南洋群島六十八島

陸軍薬剤中尉

木村田正行

所在地

沖玉混成第五旅團司令部

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名付記
ス

摘要

天部事要
以降ニ於テ
自己ノ略歴

自昭一五七三五 南支那教育備
自昭一六一二〇 陸軍軍医学校ニ於テ教育ヲ受メ
自昭一六七一 小倉陸軍病院勤務
自昭一七三三〇 六十八島守備其地

所在部隊ノ
編成年月日
及編制表
備ノ概要

沖玉混成第五旅團 昭和十八年十一月二十三日編成完結
歩兵三大隊 野砲一大隊 工隊一隊 甲隊
工生隊一隊
昭和十九年六月一〇日完結
七四大隊 A一大隊 P一中 TK TL

最終ノ所
屬部隊ヲ
五ニシテ尚ソ
以前ノ所屬
部隊ノ分ヲ
モ概要ス

新屬部隊
作戦経過
ノ概要

沖玉混成第五旅團 自昭一九三二四 六十八島守備
沖玉混成第五旅團 自昭一九三二五

終戦ノ主
力ノ戦斗ノ
了ノ状況

終戦ノ主
力ノ戦斗ノ
了ノ状況

一終戦ノ時 歸還ニ至ルニテ六十八島戦災復興ニ従フ
一昭二〇三三三 六十八島港ニ於テ米艦LS-Tニ乗船
昭二二一五 浦安港ニ上陸

歸還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

歸郷又ハ連
絡ノ光

広島縣

其他ノ参
考事項

ナ

備考

呼校ニ記載セシメテ 夏省 資実部ニ送付ス

清島方面隊

關東上陸地支局

昭和二十一年一月五日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	南洋ホノム島	職官	陸軍中尉 清水谷 公博	終戦時 モウ記ス
所屬部隊	南洋第三隊 獨立混成第五旅團	氏名	清水谷 公博	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス
支那事変 以降ニ於テ 自己ノ略歴				
所在部隊 編成年月日 及編制裝 備ノ概要	昭和十八年十一月三日(南洋第三隊) 十九年六月十日(獨立混成第五旅團)			
所屬部隊 作戰經過 ノ概要	自昭和十九年一月十日 至二十一年八月三日 ホノム島ノ封空戦斗 及準備			
終戦ノ主 力ノ戦斗終 了後ノ状況	歸還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス			
歸郷又ハ連 絡ノ先	予官官縣			
其他ノ参 考事項				
備考	考得校ニ記載セシメキ一員省資字部ニ送付ス			

蘭東上陸地支局

昭和二十一年 一月 六日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南洋群島 小十島

職官

通信隊長 陸軍少佐

終戦時ノ
モトヲ記ス

所屬部隊

獨立混成隊五十五隊團

氏名

桑原 正五郎

職ノ変更及
五ナル参加
戦斗名ヲ記
ス

支那軍ニ
以降ニ於
自己ノ略
歴

歩兵第三十四聯隊隊員 (昭和十五年五月一日)
陸軍少佐 桑原正五郎 隊長 (昭和十五年八月五日)
南洋軍第三支隊通信隊長 (昭和十八年十一月三十日)
獨立混成隊五十五隊團通信隊長 (昭和二十年六月十日)
小十島 守備隊長 (他 昭和二十年六月十日)

所在部隊ノ
編成年月日
及編制裝
備ノ概要

昭和十九年十一月十日 獨立混成隊五十五隊團編成
中 砲 342 343 344 BTK BTA BTP
BT 裝 備 中 隊 中 隊 中 隊 中 隊 中 隊 中 隊
昭和十八年十一月三十日 南洋軍第三支隊編成
砲 中 隊 砲 中 隊 砲 中 隊 砲 中 隊 砲 中 隊 砲 中 隊
砲 中 隊 砲 中 隊 砲 中 隊 砲 中 隊 砲 中 隊 砲 中 隊

最終ノ所
屬部隊ヲ

五ニシテ尚
以前ノ所屬
部隊ノ分ヲ

所屬部隊
作戰經過
ノ概要

南洋軍第三支隊 昭和十九年十一月十日 小十島上陸
完備 戦斗
昭和十九年十一月十日 獨立混成隊五十五隊團
二師團改修 引續キ 小十島守備
隊

歸還輸送
ノ狀況ヲモ
併記ス

終戦ノ主
力ノ戦斗終
了ノ狀況

終戦後 小十島ニ於テ復旧作業
昭和二十年十一月三十日 小十島出港
二十一年一月四日到着

歸還輸送
ノ狀況ヲモ
併記ス

歸還ノ八連
絡ノ先

佐賀縣

其他参考
事項

備考

原校ニ記載セシモノナシ 眞直實業部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和二十一年一月六日

史実調査参考資料報告

所在地

和十島

官名

陸軍中尉

所屬部隊

特務隊

名

齊藤新正

摘要
終戦時ノ
モラ記ス

天那事変
以降ニ於テ
自己ノ略歴

昭和二十一年一月十日 滿洲國公共衛生局長事務勤務
昭和二十一年一月十日 中野航空隊隊員
昭和二十一年一月十日 中野航空隊隊員
安省林口 泉屯(滿洲國六高師隊)

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名ヲ記
ス

所在部隊
編成年月日
及編制裝
備ノ概要

昭和二十一年一月十日 編成完成
中野航空隊
TKPA
各

所屬部隊
作戰経過
ノ概要

昭和二十一年一月十日 和十島上陸 爾后同地ニ
駐屯 備三任シテ終戦ニ至ル

最終ノ所
屬部隊ヲ
主ニ尚シ
以前ノ所屬
部隊ノ分ヲ
モ概記ス

終戦(又ハ主
力ノ戦斗終
了)後ノ状況

昭和二十一年八月十日終戦ノ大詔ヲ拜シテヨリ昭和
二十一年十一月三日 歸還ニ至ルニテ 泉屯地ニ於
テ 復員ニ從事ス
昭和二十一年十一月十日 和十島ヨリニ 港ニ於テ
米俵(571.8) 船 昭和三十二年 井井有
吾 浦野入港

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷(又ハ連
絡)先

和十島

其他参考
事項

ナシ

備考

考 俘校ニ記載セシメテ一員省資実部ニ送付ス

史実調査參考資料報告

南洋群島第十六島

陸軍軍医大尉

獨立混成隊司令部

益田集太

支那事変以降於自己略歴

自昭和十二年七月三十日至十五年十月三日

廣島陸軍病院勤務

終戦時ノモリヲ記ス

職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス

所在部隊ノ編成年月日及编制裝備ノ概要

獨立混成隊第五聯隊

昭和十八年十一月二十二日編成完結

步兵三三〇方隊 野砲二隊 工兵三隊

獨立混成隊司令部

昭和十九年六月十日完結

步兵四〇大隊 A一大隊 P一中隊 TL

所屬部隊ノ概略

獨立混成隊司令部

自昭和十九年六月十日完結

步兵四〇大隊 A一大隊 P一中隊 TL

最終ノ所屬部隊ノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲ概略記ス

終戦又ハ主力ノ戦斗終了ノ狀況

終戦ノ時南洋群島第十六島は復讐ニ從テ歸還輸送ノ狀況ニ關シテ、昭和二十一年一月三日乗船、昭和二十一年三月浦賀港上陸

歸還輸送ノ狀況ヲ併記ス

歸還又ハ連絡先

廣島縣

其他ノ参考事項

十

備考

参考資料ニ記載セシモノヤ一復査有實部ニ送付ス

17

關東上陸地支局 昭和二十一年一月六日

史実調査参考資料報告

所在地 南洋群島木太島 官 平備後陸軍大尉 西川吉可郎

所屬部隊 独立混成隊第5旅團 名 職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名手記
不

天那事夏船 二六九二
以降ニ於テ 二六九二
自己ノ略歴 二六九二
一八九二
一八九二
二六九二
南洋群島木太島中隊
中隊長

所在部隊 昭和二十一年一月九日独立混成隊第5旅團
野戦中隊(甲)一般 編成 警備中
昭和二十一年一月九日独立混成隊第5旅團(乙)中隊(改編)
編成 中隊(乙)中隊長(改組)

及編制裝 備概要 和太島に於テ東敵ニ陣地構築戰用人員
我ノ遺跡生友

所屬部隊 概記ス
最終ノ所
屬部隊ヲ
五ニ尚ソ
以前ノ所屬
部隊ノ分ヲ
概記ス

終戦(又ハ玉 日本再建ノタメノ將兵ノ功績並ニ協力ノ鍊成
力ノ戦斗終 白河生友
了ニ於テ状況 米圃ノ要求作業ノ實施

帰郷又ハ連 廣島縣
絡(先)

其他ノ参 考事項

備考 考厚校ニ記載セシメテ一以員省資實部ニ送付ス

摘要

終戦時ノ
モノウ記ス

關東上陸地吏局

昭和二十一年一月五日

史実調査參考資料報告

摘要

所在地

南洋群島 木十八島

官

南洋陸軍大尉 (小隊長)

終戦時ノ
モノウ記ス

所屬部隊

独立第五旅團工兵隊

名

青山博三

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名ヲ記
ス

天那事変
以降ニ於テ
自己ノ略歴

昭和三十五年一月 南軍作戦参加 小隊長
一月 賓陽作戦
九月 仰印作戦
十二月 浙江作戦 中隊長
日 十九年二月 南洋力不島守備 小隊長
至 三十五年八月

所在部隊
編成年月日
及編制裝
備ノ概要

昭和十九年十月十日 独立旅團第五旅團工兵甲中隊一般裝備
昭和二十年七月三日 第五師團(甲師團)工兵第五聯隊
昭和十八年十月三日 獨立旅團第五聯隊工兵中隊一般裝備

最終ノ所
屬部隊ヲ
五ニシテ尚
以前ノ所屬
部隊ノ分ヲ
モ概記ス

所屬部隊
作戰經過
ノ概要

一 自昭和十九年一月十五日
至 二十一年八月十四日 木十八島守備

終戦(又ハ主
力ノ戦斗終
了)後ノ状況

終戦(又ハ主
力ノ戦斗終
了)後ノ状況

終戦後ハ未ダ命令ニ依リ該作業者ニ復舊作業
ニ從事ス。治安及對島民之和解ノ共同
好ニシテ好状況ニ在リ。島民ノ日本人ニ對シテ
強ハシク不信任ノ念ヲ示ス。相互ノ交友交視ニ在
リ。

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

その他
ノ事項

帰郷又ハ連
絡先

備考

考 俘校ニ記載セシメ才一紙眞省 實案部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和 21 年 1 月 5 日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南洋群島六十八回

官 千代田中尉(大塚)

終戦時ノ
モリヲ記ス

所屬部隊

櫻井中隊(後回)

名 小川 幸吉

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名ヲ記
ス

支那事変
以降ニ於テ
自己ノ略歴

一 昭和二十一年四月一日付所屬部隊補充隊ノ隊
長ニ任ズル
一 昭和二十一年四月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年四月二十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年五月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年六月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年七月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年八月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年九月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十一月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十二月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル

所在部隊
編成年月日
及編制表
備ノ概要

一 昭和二十一年四月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年五月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年六月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年七月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年八月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年九月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十一月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十二月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル

所屬部隊
作戦経過
ノ概要

一 昭和二十一年四月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年五月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年六月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年七月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年八月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年九月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十一月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十二月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル

最後ノ所
屬部隊ヲ
主ニ尚ソ
以テ所屬
部隊ノ分ヲ
モリ記ス

終戦ノ主
力ノ戦斗終
了ノ状況

一 昭和二十一年四月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年五月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年六月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年七月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年八月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年九月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十一月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル
一 昭和二十一年十二月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル

帰還輸送
ノ状況ヲモ
リ記ス

帰郷支隊
終戦先

昭和二十一年四月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル

其他ノ参
考事項

昭和二十一年四月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル

備考

昭和二十一年四月十日付陸軍中尉(海軍)ニ任ズル

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南群島ホナ島

職官

予備陸軍中尉(中隊附)

終戦時ノ
モノウ記ス

所屬部隊

独立混成第五旅團工兵隊

名

緒方今朝士

職ノ変更及
主ナル参加
戦ノ名ヲ記
ス

天那事變
以降ニ於テ
自己ノ略歴

昭和三十七年四月十日 工兵第六聯隊補充隊入隊
昭和三十七年十一月十日 兵科幹部候補生トシテ陸軍工兵學校入校
昭和三十八年四月二十六日 右校卒業 原隊復歸
昭和三十八年五月五日 工兵第五聯隊補充隊入隊 轉屬
昭和三十八年十一月十九日 独立混成第五旅團工兵隊 轉屬
昭和三十九年六月十日 独立混成第五旅團編成

所在部隊
編成年月日
及編制裝
備ノ概要

昭和三十九年六月十日 独立混成第五旅團工兵中隊
(甲)中隊一般裝備

最終ノ所
屬部隊ヲ
主ニ示シ
以前ノ所屬
部隊ノ分ヲ
概記ス

所屬部隊
概況
概要

一 自 昭和三十九年一月十五日
至 昭和三十九年八月十四日
ホナ島守備

終戦(又ハ主 終戦後)ハ米國ノ命ニ依テ諸作業ヲ復旧作業
力ノ戦斗終 二 後事ス 治安及村島民其他關係ハ甚ニ良好ニ
了ルノ狀況ニ在リ 米國側亦友好ノ事故ナリ

帰還輸送
ノ狀況ヲ
併記ス

歸還ニ赴ク
輸送内(L&T)内ニ於テ相互ニ態度尤亦友好
祝ニ在リ

歸郷又ハ連 熊本線
終先

其他參
考事項

備 考 厚校ニ記載セシメテ以テ員省 復實部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和 21 年 1 月 5 日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

大宮野島和十ノ島

職官

長谷川 美一

戦時ノ
モリヲ記ス

所屬部隊

独立混成隊第10旅団

氏名

長谷川 美一

職ノ変更及
主ナル参加
戦年ノ記
ス

天那事変
以降ノ於テ
自己ノ略歴

昭和十七年四月十日 予ニ先任陸軍少佐入隊
八月十日 予ニ先任陸軍少佐入隊
十一月十日 予ニ先任陸軍少佐入隊
昭和十八年四月十日 予ニ先任陸軍少佐入隊
昭和十九年四月十日 予ニ先任陸軍少佐入隊

所在部隊
編成年月日
及編制裝
備ノ概要

昭和十九年四月十日 予ニ先任陸軍少佐入隊
予ニ先任陸軍少佐入隊

所屬部隊
作戰經過
ノ概要

昭和十九年四月十日 予ニ先任陸軍少佐入隊
昭和十九年四月十日 予ニ先任陸軍少佐入隊

終戦ノ又ハ主
力ノ戦斗終
了ノ状況

終戦ノ又ハ主
力ノ戦斗終
了ノ状況

帰郷又ハ連
絡ノ先

以テ形ヲ

其ノ他ノ参
考事項

備考 考得校ニ記載セシメテ一役員有資実部ニ送付ス

最終ノ所
屬部隊ヲ
主ニ尚ソ
以テ所屬
部隊ノ分ヲ
モ概記ス

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

關東上陸地支局

昭和 年 月 日

史実調査参考資料報告

所在地	南軍部島本大島	官	予備役陸軍中尉	終戦時	モリヲ記ス
所屬部隊	増上機隊五三旅団	名	山本 吉三郎	職ノ変更及	

支那事変	昭和十七年一月一日	職ノ変更及	職ノ変更及
以降ノ経歴	五月一日甲種所部新編陸軍中尉	戦斗名ヲ記	
自己ノ略歴	三合 十一月一日		
	四日如大身十月三日		
	五昭如十五年九月十日		

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	一昭如十九年九月十日	最終ノ所屬部隊ヲ	五三旅団ノ以テ前ノ所屬部隊ノ分ヲ
	(甲)中隊一隊裝束		

所屬部隊ノ作戦経過ノ概要	昭如十九年一月十日	部	部
	昭如二十年八月十日		

終戦ノ主眼力ノ戦斗終了ノ状況	昭如十九年九月十日	帰還輸送ノ状況ヲモ併記ス	
	昭如二十年八月十日		

帰郷又ハ連絡ノ先	昭如十九年九月十日		
	昭如二十年八月十日		

備考	昭如十九年九月十日		
	昭如二十年八月十日		

96

關東上陸地支局

昭和 年 月 日

史実調査参考資料報告

所在地	所属部隊	姓名	摘要
<p>支那華夏 以降ニ於テ 自己ノ略歴</p>	<p>南洋群島 陸軍軍団大尉</p>	<p>田坂一之</p>	<p>終戦時ノ モリヲ記ス</p>
<p>終戦(又ハ主 力ノ戦斗終 了)於テハ状況</p>	<p>昭和三十九年六月十日 神保五三旅団三三隊</p>	<p>編成</p>	<p>最終ノ所 属部隊ヲ 示シテ前ノ所 属部隊ノ分ヲ モ概記ス</p>
<p>歸郷(又ハ連 絡)先</p>	<p>廣島縣</p>	<p>廣島陸軍病院 附屬 歩兵九師團通信隊附 歩兵九師團通信隊附 歩兵九師團通信隊附 歩兵九師團通信隊附 歩兵九師團通信隊附</p>	<p>職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス</p>
<p>其他ノ参 考事項</p>	<p>終戦當時ハホノ島守備ニ任シテ食糧不足ニ苦テ諸君ニ食糧トシ衣服モ甚ク困難アリ 歸郷ニ際シテLSTニ乗リ民間団救護班ニ手服務ス</p>	<p>昭和三十九年六月十日</p>	<p>帰還輸送ノ狀況ヲモ併記ス</p>
<p>備考</p>	<p>昭和三十九年六月十日</p>	<p>昭和三十九年六月十日</p>	<p>昭和三十九年六月十日</p>

月形中少佐

捕賀上陸地支局

昭和三年一月二日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	南洋群島六十八島	職官	陸軍中尉	終戦時ノモ
所属部隊	独立五十二根園司令部	氏名	関野次郎	ノ記ス
支那事変以降ニ於テ自 己ノ略歴	自昭和十七年四月 至昭和十八年三月 自昭和十八年三月 至昭和十八年十一月 自昭和十八年十一月 至昭和十九年三月 南洋支隊		職官更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス	
所属部隊ノ 編成年月日 及編制整備 ノ概要	一昭和十九年六月十日 二和陸進取ニ従			最後ノ所属 部隊ヲ主ニシ 尚ソ以テ 所属部隊ノ 介ヲモ概記 ス
所属部隊ノ 戦經過ノ概 要	昭和十九年六月十日 本島ノ守備			
終戦(又主力 ノ戦ヲ終了) 後ノ状況	軍民ノ治療及衛生教育 昭和二十年十一月二十三日 至二十一年一月五日 海軍上陸			帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
帰郷(又入軍 終)先	東京部			
其他ノ考 考事項				

關東上陸地支局

昭和二十一年一月 日

史実調査參考資料報告

摘要

所在地

南洋群島オキナ島

職官

戦車隊附
少佐内則隆

終戦時ノ
モリヲ記ス

所属部隊

獨立混成第五旅團

氏名

内則隆

職ノ変更及
主ナル参加
戦事名ヲ記
ス

天那軍ヲ
以降ニ於テ
自己ノ略歴

一 昭和十七年三月下旬入營
二 昭和十八年十一月三十日南洋第三支隊
戦車中隊附
三 昭和十九年一月十日以降オキナ島守備

所在部隊
編成年月日
及編制表
備考概要

一 昭和十九年六月十日
二 輕戰車九輛

所属部隊
作戦経過
概要

一 昭和十九年一月十日以降
終戦迄オキナ島守備

最終ノ所
属部隊ヲ
示シテ尚
以前ノ所属
部隊ノ分ヲ
モ概記ス

終戦ノ主
力ノ戦事
了ルニ状況

オキナ島ニ於テ国民教育
米船LS丁ニテ昭和二〇・二一・二二・二三
オキナ島発一日西浦賀上陸

帰還輸送
ノ狀況ヲモ
併記ス

帰郷又ハ連
絡先

[Redacted]

其他ノ参
考事項

備考 写真校ニ記載セシモノ一復員省資料部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和二十一年

一月五日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南洋群島志島

成官

陸軍中尉

水野俊一

終戦時ノ
モノヲ記ス

所屬部隊

獨逸混成第五旅団

名

水野俊一

一

職ノ変更及
主テル参加
戦ノ名ヲ記
ス

天那事変
以降ニ於テ
自己ノ略歴

一 昭和二十一年一月五日南洋第三支隊乗車
中隊隊員
二 昭和二十一年一月五日以降南洋第三支隊乗車

所在部隊ノ
編成年月日
及編制裝
備ノ概要

一 昭和二十一年六月十日編成
一 陸軍第九師

所屬部隊
概略

一 昭和二十一年一月五日以降南洋第三支隊乗車
中隊隊員

終戦(又ハ主
力ノ戦手終
了ノ後ノ状況

終戦後南洋第三支隊乗車中隊隊員
及乗車中隊隊員是等島内自衛隊員
トシテ

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

其他ノ考
考事項

米艦LS T 三三三和 二〇二二三三和 島
出港一月五日浦上陸
船内搬入、搬出、搬入、搬出

備考

呼称ニ記載セシメ一復員省復員部ニ送付ス

備考

呼称ニ記載セシメ一復員省復員部ニ送付ス

備考

呼称ニ記載セシメ一復員省復員部ニ送付ス

備考

呼称ニ記載セシメ一復員省復員部ニ送付ス

備考

呼称ニ記載セシメ一復員省復員部ニ送付ス

備考

呼称ニ記載セシメ一復員省復員部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和二十一年一月六日

史実調査參考資料報告

所在地	所屬部隊	支那事変以降自己略歴	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備概要	所屬部隊在戰經過概要	終戦又ハ主カノ戦斗終了ノ状況	備考
東カワリ群島加ハル島	獨逸隊	昭和二十一年十月五日野上陸	編成年月日不明	一月十日陸上	終戦時ノ状況	備考
東カワリ群島加ハル島	獨逸隊	昭和二十一年十月五日野上陸	編成年月日不明	一月十日陸上	終戦時ノ状況	備考
東カワリ群島加ハル島	獨逸隊	昭和二十一年十月五日野上陸	編成年月日不明	一月十日陸上	終戦時ノ状況	備考

55

浦賀上陸地支局 (昭和二十年十二月二十日)

史実調査参考資料報告

所在地	所属部隊	職官	姓名	階級	備考
中部太平洋	第五旅	旅長	田中多徳	少佐	終戦時ノモ ノ一ノモ ノ一ノモ
支那事変 以降ニ於ケル 自己ノ略ヲ	昭和十九年八月二十九日 第五旅(道軍部隊) 十九年九月五日 第五旅(支那事変) 十九年九月十日 第五旅(支那事変) 十九年九月十五日 第五旅(支那事変)				職官變更及 五ノルモ 加 戦手名ヲ 記入ス
所屬部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	昭和十九年九月十日 第五旅(支那事変) 本奇一三ノ甲隊(三八ノ野戦) 昭和十九年九月十日 第五旅(支那事変) 本奇一三ノ甲隊(三八ノ野戦)				最新ノ所 屬部隊ヲ 至ニ尚其 ノ以テノ所 屬部隊ノ 介テモ概況
所屬部隊下 戦経過ノ概 要	昭和十九年九月十日 第五旅(支那事変) 本奇一三ノ甲隊(三八ノ野戦) 昭和十九年九月十日 第五旅(支那事変) 本奇一三ノ甲隊(三八ノ野戦)				所屬部隊下 戦経過ノ概 要
終戦ノ又ハ主 カノ戦時終 了ノ後ノ概況	昭和十九年九月十日 第五旅(支那事変) 本奇一三ノ甲隊(三八ノ野戦) 昭和十九年九月十日 第五旅(支那事変) 本奇一三ノ甲隊(三八ノ野戦)				終戦ノ又ハ主 カノ戦時終 了ノ後ノ概況
帰郷ノ又ハ連 続ノ先	昭和十九年九月十日 第五旅(支那事変) 本奇一三ノ甲隊(三八ノ野戦) 昭和十九年九月十日 第五旅(支那事変) 本奇一三ノ甲隊(三八ノ野戦)				帰郷ノ又ハ連 続ノ先

一等極大ノ食糧不足ノモトニ
三月ノ良好トシテ終戦後
概不満足ノノハアリキ

福島五志村陸軍隊

浦賀上陸地支局

(昭和二十年一月二日)

史実調査参考資料報告

所在地		所屬部隊		支那事変以降の自己略取		所屬部隊編成年月日及編制裝備概要		所屬部隊作戦經過概要		終戦(又八五)力/戦斗終了/終戦状況		帰郷(又八連)先		其他/参考事項	
南洋群島、ボラ(島)職官		獨逸之十二隊、破多隊		一五、五一、一六、八一、一八、二一、一九、二九、南洋群島、ボラ(島)職官		二〇、六一〇		破多隊長 二回		破多隊長 二回		福島		十二	
職官		氏名		陸軍少佐 宮川一						帰還輸送人状況ヲモ併記ス					
摘要		終戦時ノモ		職ノ変更及五ノタル参加戦年名ヲ記ス		最隊ノ所屬部隊ヲ以テ其ノ所屬部隊ノ分テモ概記ス									
摘要		終戦時ノモ		職ノ変更及五ノタル参加戦年名ヲ記ス		最隊ノ所屬部隊ヲ以テ其ノ所屬部隊ノ分テモ概記ス				帰還輸送人状況ヲモ併記ス					

浦賀上陸地支局 (昭和二十年十二月二日)

実地調査参考資料報告

所在地	南洋群島ホノムラカミ職官附	摘要 終戦時ノモ ノヲ記ス
所属部隊	獨逸混成五旅団砲兵隊長 陸軍大尉 高洲孝次	職ノ変更及 主ナル参加 戦年各ヲ 記ス
支那事変 以降ニ於ケル 自己ノ略ヲ	<p>一、二、七、二、七 野砲兵五聯隊補充隊ニ進出 一、二、八、七 出立野砲兵五聯隊ヲ二天防附ニ支那事変ニ志願 一、三、九、三、〇 任陸軍中隊 一、五、二、三、〇 任陸軍中隊 一、五、二、三、〇 任陸軍中隊 其内中隊指揮官長天防連絡掛 聯隊連絡掛トシテ太原陣州 南寧ヲ攻メ其他戦年ニ参加 一、八、二、三、三 獨逸混成五旅団砲兵隊長 一九三九年ホノムラカミ上陸一九三九年獨逸 混成五旅団砲兵隊長 一九三九年。任陸軍大尉</p>	最終ノ所 属部隊ヲ 主ニ尚其 ノ以テノ所 属部隊ノ 介テモ概記 ス
所属部隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	砲兵隊長 (一) 〇	
所属部隊 戦經過ノ概 要	砲兵隊長 (一) 〇	
終戦(又ハ主 力ノ戦年終 了)ノ状況	砲兵隊長 (一) 〇	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
帰郷(又ハ連 絡)ノ先	山口縣	
其他ノ参 考事項	ナシ	

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二十日)

史実調査参考資料報告

所在地	南洋群島	官職	姓名	備考
所屬部隊	独混五上旅団砲兵隊	大尉	石山但信	終戦時ノモ ノヲ記ス
支那事変以降ニ於テ自己ノ略ヲ	<p>三、五、二一 臨海部兵ニシテ野砲五聯隊補充隊ニ充テ 一四、四、六 野砲五聯隊補充隊ニ充テ 一四、二、一 陸軍砲隊補充隊ニ充テ 一六、九、九 中支北支砲隊補充隊ニ充テ 一六、九、九 中支北支砲隊補充隊ニ充テ 一八、二、一 獨混五上旅団砲兵隊ニ充テ 一八、二、一 獨混五上旅団砲兵隊ニ充テ 二〇、一、一八 獨混五上旅団砲兵隊ニ充テ 二〇、一、一八 獨混五上旅団砲兵隊ニ充テ 二〇、一、一八 獨混五上旅団砲兵隊ニ充テ</p>			
所屬部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	<p>一、一九、一、一〇 二、砲兵隊長ニ同シ</p>			
所屬部隊ノ戦經過ノ概要	<p>砲兵隊長ニ同シ</p>			
終戦(又ハ主力ノ戦ヲ終了)ノ状況	<p>砲兵隊長ニ同シ</p>			
帰郷(又ハ連絡)ノ先	<p>山口縣</p>			
其他ノ参考事項	<p>帰還輸送ノ状況ヲモ併記ス</p>			

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二十日)

実地調査参考資料報告

所在地	南坪群島(小島)	職官	陸軍大尉 佐々木毅一	摘要	終戦時ノモ ノヲ記ス
所属部隊	備後五十三旅團砲兵隊	氏名	陸軍大尉 佐々木毅一	職ノ変更及 五ノル参加 戦手名ヲ 記ス	職ノ変更及 五ノル参加 戦手名ヲ 記ス
支那事変 以降ニ於ケル 自己ノ略	一三、一〇、應召、砲兵五聯隊砲兵中隊 一四、二、一六、任陸軍砲兵少尉、東軍軍中団長、守備第四師団隊付 一六、八、一、任陸軍中尉 一七、四、一、進軍第十一大隊隊付 一八、三、一、百集隊除 一八、二、一、九、任陸軍大尉、独立機中隊隊付 一九、二、九、任陸軍大尉 一九、八、三、一、任陸軍大尉	陸軍大尉	佐々木毅一	職ノ変更及 五ノル参加 戦手名ヲ 記ス	職ノ変更及 五ノル参加 戦手名ヲ 記ス
所属部隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	砲兵隊長 同	陸軍大尉	佐々木毅一	最終ノ所 属部隊ヲ 五ニ尚其 ノ以テノ所 属部隊ノ 介テモ概記 ス	最終ノ所 属部隊ヲ 五ニ尚其 ノ以テノ所 属部隊ノ 介テモ概記 ス
所属部隊 戦經過ノ概 要	砲兵隊長 同	陸軍大尉	佐々木毅一	砲兵隊長 同	砲兵隊長 同
終戦(又ハ五 力ノ戦ヲ終 了)後ノ状況	砲兵隊長 同	陸軍大尉	佐々木毅一	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
帰郷(又ハ連 絡)先	山口県	陸軍大尉	佐々木毅一	砲兵隊長 同	砲兵隊長 同
其他ノ参考 事項	十	陸軍大尉	佐々木毅一	砲兵隊長 同	砲兵隊長 同

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十一月二十日)

史実調査参考資料報告

所在地	所属部隊	支那事変以降ニ於ケル自己ノ略ヲ	編成年月日及編制裝備ノ概要	所屬部隊ノ概	終戦(又ハ主力ノ戦ヲ終了)ノ状況	帰郷(又ハ連絡)ノ先	其他ノ参考事項
南洋群島オホ島	陸軍少尉 大下大二	昭和二十年十一月十九日 陸軍少尉(和道三郎)に降参し、 一九二九年二月九日 オホ島上陸 一九二九年十一月 和道三郎に降参し、 和道三郎に降参し、 和道三郎に降参し、	最良ノ所屬部隊ヲ以テ、其ノ所屬部隊ノ介テ概記ス	廿一九、七、一〇 和道三郎長に左し	和道三郎長に左し	廣島	十
終戦時ノモリ	和道三郎長	和道三郎長	和道三郎長	終戦(又ハ主力ノ戦ヲ終了)ノ状況	和道三郎長に左し	廣島	十
終戦時ノモリ	和道三郎長	和道三郎長	和道三郎長	終戦(又ハ主力ノ戦ヲ終了)ノ状況	和道三郎長に左し	廣島	十

山
田

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二十日)

史実調査参考資料報告

所在地	木ノ島	職官 陸軍主計大尉 山田 謹衛	摘要 終戦時ノモ ノヲ記ス
所属部隊	浦賀第一七五八部隊 昭和十四年八月五日歩兵第廿三師隊編成第一大隊附 昭和十五年四月十日召集解隊 昭和十八年十月十九日猶之隊以第五師隊砲兵大隊附トシテ知召 昭和十九年二月九日南洋群島本島上陸 昭和二十年十一月八日今島島中隊今月人員浦賀上陸復員	職ノ変更及 五ノル参加 戦手名ヲ 記ス	
所属部隊 編成年月日 及編制裝備 概要	砲兵隊長ニ命ジ	最終ノ所 属部隊ヲ 主ニ尚其 ノ以テノ所 属部隊ノ 分テモ概記 ス	
所属部隊 戦經過 概要	砲兵隊長ニ命ジ	帰還輸送 ノ状況ヲモ ノ行記ス	
終戦(又ハ主 力ノ戦ヲ終 了)後ノ状況	砲兵隊長ニ命ジ		
帰郷(又ハ連 絡)先	山口縣		
其他ノ参 考事項			

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十一月二日)

史実調査参考資料報告

所在地	所屬部隊	職官	姓名	職名	備考
南洋群島、ボネ島	第五師團	陸軍軍医大尉	木村 脚 菱		職名変更及 五ノル参加 戦時名手 記ス
	支那事变 以降三於 自己略下				
	所屬部隊 編成年月日 及編制裝備 概要				最終所 屬部隊 五二尚其 以所 屬部隊 介テ概記 ス
	所屬部隊 概				
	終戦(又八五 力)戦時終 了一終狀況				帰還輸送 一狀況ヲ 併記ス
歸還(又八連 路)先	官位				
其他(又八連 考事項)	<p>南洋群島ボネ島に小部隊を派遣し、島内各地を巡回し、住民の生活状況を調査するとともに、島の地理、人口、物産等を調査した。ボネ島は南洋群島の南東部に位置し、面積は約1000平方キロメートルに達する。島の人口は約2万人と推定され、主に農業を営んでいる。島の物産は主に椰子、胡椒、ゴム、ココナツなどであり、南洋の主要な産物である。島の地理は複雑で、山岳地帯が多く、交通は不便である。島の住民は主に南洋の各地から移住してきた者であり、言語も多岐にわたる。島の政治は日本の委任統治下にあり、島の長官は日本の軍医大尉が兼任している。島の経済は主に農業と貿易に依存しており、島の発展は日本の援助に大きく依存している。</p>				

關東上陸地支局

昭和二十一年一月三日

史実調査參考資料報告

摘要

所在地

南洋カリ群島和太島

職官

工兵小隊長 陸軍少尉 土屋 郁三

終戦時ノモリヲ記ス

所属部隊

獨立混成第五聯隊工兵隊

姓名

土屋 郁三

支那事變以降ニ於テ自己ノ略歴

昭和十八年十月十九日充員召集 獨立混成第五聯隊ニ属ス 命工兵小隊長 昭和十九年一月十五日卒業 二月八日和太島上陸

職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス

所在部隊ノ編成年月日及編制表

獨立混成第五聯隊工兵中隊編成完結以和十八年十月十五日 和太島ニ至リ南洋混成隊及工兵隊上陸 獨立混成第五聯隊工兵隊編成 昭和十九年六月十日

最終ノ所属部隊ヲ主ニ尚ソノ以テ開示ヲ部隊ノ分ヲ概記ス

所属部隊ノ概要

昭和十九年二月一日和太島上陸以來和太島ニ於テ防禦施設強化ニ終始ス 実施上ノ主要ノ作業

防禦施設 戦車道 橋梁 水陸山中 停置物 橋梁 築設 坑道 塹壕

終戦ノ時ノ力ノ戦斗ノ了リノ状況

米側軍政部ニ要求ニ基キ補作業ノ実施 道路補修 陣地及被撃地及同建物ノ復旧 及取除(掃破又含む)倉庫 橋梁 製粉 邦人引揚輸送船(LST)通譯要員修教

帰還輸送ノ状況ヲ併記ス

帰郷又ノ運送ノ光

廣島縣

其他ノ参考事項

備考

特校ニ記載セシメテ其ノ要領ヲ送付ス

12



關東上陸地支局

昭和二十一年一月五日

史実調査参考資料報告

南洋群島木下島

陸軍軍医大尉 兒玉安郎

獨立混成第五旅團司令部

名

終戦時ノ
モリヲ記ス
摘要

支那事変
以降ニ於テ
自己ノ略歴

所在部隊
編成年月日
及編制裝
備ノ概要

所屬部隊
作戦経過
ノ概要

終戦ノ主
力ノ戦斗終
了ノ状況

歸郷又ハ連
絡ノ先

其ノ他ノ参
考事項

備考

昭和二十一年七月三十日充員凡軍三三〇名ヲ編成第五聯隊附支那事
変ヲ加ヘ太原攻勢時 徐州會戰 廣東攻勢時 南寧及賓陽會戰 北平佛印
作戦(昭和二十一年十月三十日召集解除)
昭和二十一年十月二日臨時召集ニシテ 獨立混成第五旅團工兵隊附大東
亞戦場比島作戦ニ参加(ハタシ半島攻勢時 比島ルニ對シテ對定作戦)
昭和二十一年十二月三十日召集解除
昭和二十一年十一月九日召集ニシテ 獨立混成第五旅團附支那事變隊
昭和二十一年十一月十五日木下島上陸 昭和二十一年十一月十日編成改正

昭和十九年六月十日 於南洋群島木下島 南洋第三大隊
及獨立混成第五聯隊ノ一部ヲ以テ編成ス

自昭和十九年二月二十五日至昭和二十一年一月
木下島ノ村空襲即及守備

自昭和十九年三月至昭和二十一年五月十日ニ於テ木下島ニ於テ
南洋第三大隊ニシテ 獨立混成第五旅團ノ一部ヲ以テ編成ス
南洋第三大隊ニシテ 獨立混成第五旅團ノ一部ヲ以テ編成ス
南洋第三大隊ニシテ 獨立混成第五旅團ノ一部ヲ以テ編成ス

木下島復讐ノ多ク 諸作業並ニ自派
衛生部員ノ勤務性前ト大差ナシ 傷病者ノ治療 疾病予防
昭和二十一年十二月二十日木下島出立 米糧ハ 下ニニ五号ニ乘
船 別人員ヲ救濟スルニ 内地ニ帰還ス 昭和二十一年一月三日
浦賀上陸

廣島縣

木下島ハ天惠豊テニシテ 人ノ自派可能多湿ナレバ余リ
高濕ナリ 山形地帯ヲ除ケバ 結核性疾患ノ發症
速ス 患者ノ経過一一般ニ良好ニモト認マラル

備考ニ記載セシメテ 以眞有次第實定部ニ送付ス

歸郷輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

備考

備考

關東上陸地支局

昭和二十一年一月五日

史実調査参考資料科報告

南洋支隊八島

隊官 陸軍中佐 針 福永 勲

所在地

獨立混成第六十二旅團

名

福永 勲

天那事変以降自己略歴

昭和十二年九月十五日 第三十三号特種陸隊中隊付
ハヤシ上陸 南軍作戦 支隊作戦

所屬部隊

昭和十八年十二月十九日 獨立混成第六十師隊衛生隊

編成年月日

昭和十八年十二月十九日 獨立混成第六十師隊衛生隊

及編制裝

輸送隊に属す 獨立混成第六十二旅團司令部付

所屬部隊

自昭和二十一年一月至 昭和二十一年八月 八島支隊 及中隊

作戦経過

自昭和二十一年一月至 昭和二十一年八月 八島支隊 及中隊

概要

自昭和二十一年一月至 昭和二十一年八月 八島支隊 及中隊

終戦(又は重)

昭和二十一年八月十五日 八島支隊 乗船乗船
了(終)状況 昭和二十一年一月三日 南軍作戦

帰還輸送
併記ス

帰郷(又は連)

鹿児島縣

その他(参)

参事項

備考

俘校記載セシメ 復員省 資実部ニ送付ス

史実調査參考資料報告

摘要

所在地

南洋群島 南緯十度

官 陸軍衛生少尉 片内金之

職 支更及
戰鬥名手記

所屬部隊

陸軍衛生少隊 司令部

名 陸軍衛生少尉 片内金之

職 支更及
戰鬥名手記

支那事変
以降に於て
自己の略歴

所在部隊
編成年月日
及編制表
備考概要

一 南洋 支隊 昭和八・二・三 師団 完結
昭和九・六・一 師団 改組 旅団 陸軍衛生少隊 二 旅団
旧南洋 支隊 改組 旅団 陸軍衛生少隊 一 旅団
以手記 口述

最終の所
屬部隊ヲ
主ニ以テ
以前の所屬
部隊ノ分ヲ
以テ記ス

所屬部隊
作戰經過
概要

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

終戦(又ハ主
力ノ戦斗終
了後ノ状況

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

帰郷(又ハ連
絡)光

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

其他参考
事項

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

備考

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況

一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況
一 患者の收容の概況